

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780

☎ (0263) 52-3100

www.mdu.ac.jp

1部60円

歯科医師国家試験に挑む6年生へ

校友会と大学が一致団結

最後の追い込みにスタミナ食など全力で応援

本学卒業試験・国家試験という大きな壁に挑む本学6年生たちを支援するため、校友会と大学が一致団結し、さまざまな取り組みが行われている。年末年始期間中の食事の提供、矢ヶ崎雅理事長からの差し入れ、さらに年末年始の合格祈願の絵馬奉納など、学生たちの努力を支えようという温かい思いが込められた支援が続けられている。こうした応援が学生たちの大きな力となっている。

本学では、卒業試験および国家試験に向けて日々努力を続ける6年生たちを支援するため、校友会を中心に温かな取り組みが展開されている。年末年始期間中、勉学に励む学生たちを応援するため、大学からは昼食や夕食が提供され、矢ヶ崎雅理事長からはミカン

やバナナといった差し入れが届けられた。これらの支援は、学生たちの健康を守り、集中力を高めるだけでなく、「試験に挑む皆を全力で応援したい」という大学関係者の深い愛情が込められたものである。

校友会からは、「この時期は心身とも



ホリウム満点ステーキランチに感激する福島さん(左) 盛り付けを手伝う衛生学院生(右) ステーキを焼く渡辺シェフ(右下)

高大連携授業で 東海大付属諏訪高26人が参加 歯科医療と化学の魅力を体験

今年度2校目となる高大連携授業が、昨年12月5日(木)に実施された。このプログラムには、東海大学付属諏訪高校理数科特進コース1年生26名が参加。同校の参加は今年で4回目となり、毎回生徒たちから高い評価を受けている。

今回の授業では、体験実習やミニレクチャーを中心に据えたプログラムが実施され、歯科医師の役割や大学での学び、本学の特色が多角的に紹介された。また、大学行事や活動をまとめた動画を活用することで、高校

に負担が大きい時期。少しでも力になれば」というメッセージとともに、さまざまな形で学生たちを支える活動が行われている。さらに、寒川神社(神奈川県)にて6年生全員の合格を祈願し、絵馬を奉納。試験を目前に控えた学生たちが抱える不安や緊張を少しでも軽減し、前向きに試験に挑むことができるよう、心を込めて祈りが捧げられた。

また、校友会専務理事の原田寿久先生は、卒業生や関係者に向けて応援メールを配信。「6年生たちは一丸となって努力を続けています。ぜひ応援の言葉で彼らを励ましてください」と呼びかけ、校友会や大学関係者、さらには卒業生たちが一体となって学生たちを支える輪が広がった。こうした校友会や大学全

体の協力は、学生たちが安心して試験に集中できる環境を整える上で大きな力となっている。6年生たちは、2月1日(土)・2日(日)に実施される第118回歯科医師国家試験を目前に、最終仕上げの勉強に励んでいる。歯科放射線学講座の田口明教授からは「何処よりも一番勉強を頑張ったのは皆さんです」と激励の言葉が贈られた。また、有志の学生たちが大学構内にある諏訪社・稲荷社へ出向き、全員の合格を祈願した。大学関係者、校友会一同、6年生全員が試験を突破することを心から祈っている。

学生たちのご家族や兄弟姉妹、また関係者へ向けても、「学生たちは懸命に挑戦を続けています。どうか日々の努力を見守り、励ましの声を届けてください」とのエールが送られている。この言葉は、試験を目前に控えた6年生たちへの最大の後押しとなり、彼らが最後まで力を尽くせる原動力となるに違いない。校友会および大学関係者は、



諏訪社、稲荷社へ合格祈願をする6年生



自身の体験を話す林君

生が大学生活をより具体的にイメージできる工夫も行われた。授業は創立30年記念棟3階大会議室での岡藤範正教授による講義から始まった。岡藤教授は、歯科医師の役割や、むし歯や歯周病などの口腔疾患が全身疾患に与える影響について解説した。生徒たちは、専門的な内容をわかりやすく説明する講義に集中していた。

続いて、同校を卒業後、ハワイインターナショナルカレッジを経てミネソタ大学を卒業し、その後編入試験で本学に入学した林省吾君(第3学年)が、自身の進学の経緯や体験、本学の特色を語った。国際的な学びの流れや多様なキャリア形成の実例は、生徒たちにとって新鮮で刺激的な内容となった。

昼食は学生食堂でのランチ体験が行われ、大学生や教職員と同じ環境で食事を楽しみながら、大学生活の雰囲気を感じた。午後は、病理学講座の村上聡教授によるミニレクチャーと体験実習が行われた。村上教授は、「適切な検査や正しい診断のない歯科医療はありえない」と述べ、病理学的重要性を強調した。

体験実習では、生徒たちが唾液を用いて細菌数を検出する「RDテスト」を実施し、自分がむし歯になりやすいかどうかを確認。これにより、唾液の力

やその役割について新しい知識を得る機会が提供された。後日寄せられた感想文には、「歯科医師の役割が治療にとどまらないことを初めて知った」「歯科大学生の学びの内容や実習風景を知り、貴重な経験となった」「苦手だった化学が楽しくなった」などの声が多く寄せられた。



初めて見る石膏模型を観察する生徒

第4学年歯科補綴学実習Ⅱ「インプラント埋入実習」を実施 サージカルガイドプレートを活用し精度向上を目指す



顎骨模型にインプラント体を埋入している鎌倉さん

2024年11月19日(火)、第4学年の歯科補綴学実習Ⅱで口腔インプラント埋入実習が行われた。専用機材やサージカルガイドプレートを用いた実習では、埋入手技やリスク管理について学び、実践力を磨く重要な機会となった。この取り組みを通じて学生たちはインプラント治療の知識と技術を深めた。

第4学年の歯科補綴学実習Ⅱの一環として行われた、口腔インプラント実習は2017年に初めて実施されて以来、今年で8回目を迎えるものである。

ノーベルバイオケア社の協力により、実習館101実習室には約40台の専用エンジンとドリルセットが持ち込まれた。実習は、笠原隼男講師による内容説明、樋口大輔教授による埋入デモンストレーションを見学した後、3人1組のグループに分かれて実施された。埋入実習中は、インプラント埋入経験の豊富な歯科医師を中心に、インストラクターやノーベルバイオケア社のスタッフが巡回し、インプラント補綴学の基本知識の確認、埋入手技の具体的な実践方法、術中のリスク管理について指導を行った。

善・維持、疾病の治癒・病状の回復を促進する役割を担っています。特に歯科の術後は、口腔内の状態が変化し、噛むことや飲みこむことが難しいため、口腔内の状態に適した食事を提供します。

食欲不振などで食事摂取量が少ない方には管理栄養士が聞き取りを行い、できる限り嗜好に合わせた食事に変更しています。退院後も咀嚼や嚥下に配慮した食事が必要な場合は、調理の工夫の仕方や食品の選び方、市販品の紹介等を行っています。また、献立は患者様のご意見を参考に食べやすい内容に変更・改善しています。

内科外来の栄養指導は医師が食事指導は医師が食事

当院における管理栄養士の主な業務は主に次の3つです

- ①入院患者の食事・栄養の管理
- ②内科外来の栄養指導
- ③特定保健指導

当院は手術目的の入院が多く、歯科、耳鼻いんこう科、内科の混合病棟です。

入院中の食事は主治医の指示により提供され、栄養状態の改

病院だより vol.63

管理栄養士



経口流動食

軟食ソフト混合食

特定保健指導は健診の結果で、必要と判定された場合に行っています。この特定保健指導は任意のため、実施率は30%程度です。対象者が前向きな気持ちで保健指導を受けられるように工夫をして、実施者を増やしていきたいと思っています。

これまで、管理栄養士は1名体制でしたが、昨年の11月に1名増員になりました。今までの業務を更に充実させながら、今後は歯科外来で口腔機能低下症の栄養管理も実施する予定です。

(管理栄養士 竹内由里)



管理栄養士の竹内さん(左)と鈴木さん

6ヵ月間の病院研修で貴重な学び

河北省の歯科医師4名に修了証書を授与

2024年11月8日(金)、学長室にて中国河北省から派遣された専修生4名(趙増波、楊玉鵬、岳磊、路月亭)の修了証書授与式が行われた。歯科医師である4名は同年5月13日(月)より6か月間、本学病院にて臨床研修に励んだ。河北省衛生庁(現河北省衛生健康委員会)は1984年より現職歯科医師を本学に派遣し、歯科医学を通じた友好交流を続けてい

る。これまでに17期、70名が研修を受けてきた実績がある。今回の4名は新型コロナ禍後に選抜された歯科医師であり、中国側の大きな期待を背負い来日した。

授与式に先立ち、川原一祐学長は「4名の若手歯科医師が真摯に学び、多くの成果を収めたことに心から敬意を表します。その努力は本学の教職員や学生にも良い刺激を与え、双方にとって貴重な学びの機会となりました。ここでの経験を糧に、帰国後もますますのご活躍を期待しています」と挨拶した。専修生を代表して楊玉鵬医師は、「中日両国の口腔医学における理念や技術の違いを深く理解するとともに、日本独自の礼儀や匠の精神、多様な伝統文化にも触れることができました。また、松本ほんばんや諏訪湖花火大会といった地域の行事にも参加し、異国の地でも安心して充実

した研修生活を送れたことを心から感謝しています」と感謝の言葉を述べた。続いて修了証書が授与され、趙増波医師より「ここで得た知識や経験、そして仲間との出会いは、私たちにとって一生の財産です。貴重な学びの場を提供してくださった松本歯科大学に深く感謝いたします」と謝辞を述べた。式の締めくくりに、矢ヶ崎悦史法人主事より「ここで学んだ成果を活かし、日中両国の口腔医学の発展に寄与してください」と激励の言葉が贈られた。また、宇田川信之歯学部部長は本学大学院に入学した岳磊医師に対し、「すばらしい研究成果を期待しています」とエールを送った。今般の研修は、歯科技術の習得に留まらず、新たな文化理解と友情を育む貴重な時間となった。ここで築かれた絆が、今後の日中両国における医学交流と友好関係のさらなる発展に繋がることを期待する。



(後列左から) 宇田川歯学部部長、森啓特任教授、矢ヶ崎主事、内田啓一特任教授、栗原祐史教授 (前列左から) 趙増波先生、路先生、川原学長、楊先生、岳先生

(健康増進口腔科学講座 准教授 楊静)

表やグラフを作成しパワーポイントで発表

第1学年「情報リテラシー」

第1学年「情報リテラシー」では、松本歯科大学特別仕様のノート型コンピュータを各自が使用して、コンピュータスキル

の習得や情報の活用方法に関する授業を行っている。また、近年話題となっている「正しい信頼できる情報を選び取るスキル」の重要性を教えている。2024年12月10日(火)、キャンパスイン101教室において、今までの学習成果を披露する発表会が2時限目から3コマを使い、約4時間にわたって70名の学生が発表した。

今年度は学生それぞれが「自分の故郷の良いところ」をテーマとして、発表を行った。大学に入学して初めて地元を離れた学生も多いため、自分の故郷の

良いところを再確認する意味で、自分の育った地元について考えてもらった。

学生さん本人に、各自が選んだテーマに基づき、アンケートを作成してもらい、1年生全員に回答してもらった。その結果を用いてエクセルを駆使して表やグラフを作成しパワーポイントにまとめ、考察を含めて一人ひとりが自分の言葉で発表した。台湾・韓国・中国出身の学生



パワーポイントで発表する学生

今後もこのような実習を通じて

(歯科補綴学講座 助手 植野裕司)

を含めて全国から集まった学生の発表は、郷土色豊かな幅広い内容となり、それぞれの発表に大きな拍手が送られていた。プレゼンテーションも各自の独創性を感じさせるものであった。日本語を毎日勉強している留学生は自分の伝えたい内容を堂々と日本語で発表することができ、すばらしい成果であった。

新型コロナウイルス後の世界では、Webでの研修会やリモート診療、放射線の診断にAIを活用する研究も行われている。情報化社会で通用する歯科医師・歯科医学研究者を目指すためにも、コンピュータスキルとプレゼンテーション能力のハイレベル化、そして情報発信する際のリテラシー能力の向上いっそう期待したいものである。そして、今後、お互いの故郷を訪ね合える友人関係を築いてほしいと願っている。

(生化学講座 教授 中村美どり)

大阪大学・十河先生が「大学の産業連携」について講演

第4回病院セミナー

2024年12月11日（水）、第4回病院セミナーとして、大阪大学から十河基文先生をお招きして、日本の歯学界ではまだあまり馴染みのない「大学の産学連携」についてお話いただきました。

前半はご自身のキャリアパスのお話。十河先生は2003年大学発ベンチャーを起業され、当時の思いを2つ述べられました。一つ目は、「デジタル技術で『平等な医療』を実現したい」という思いから純国産品の「インプラントシミュレーションソフト」と「ガイドサージェリー」を開発されたお話でした。本学卒業生の菅井敏郎先生も「ヘビューザー」としてお使いいただいているとのこと。

でした。二つ目は本セミナーのテーマでもある「大学人の新しい道のファーストペンギンになりたい」という思いから起業されたお話です。「日本の大学も特許取得や産学連携を積極的に行うべきで、アメリカのスタンフォード大学を見習ってはどうか」とのことでした。スタンフォード大学の産学連携による収益は現在年間120億円。東京大学の年間8億円の15倍もあり「日米で大きな隔たりがある」とのことでした。また同時に同大学はノーベル賞受賞者をこれまで84名輩出する「研究大学」でもあり、「スタンフォード大学は『産学連携』と『研究』との両輪で走っているが、今後、日本の大学も『歯学は『臨床』

と『教育』がさらに加わるが、同じく両輪で進むべきではないか」とのことでした。後半は、正規教授時代に産学連携で感じてこられた内容で、「臨床ニーズが大事」。また「ニーズ発想だけでなく、発想から導かれる製品/サービスの事業性をTAM・SAM・SOM⁽¹⁾でわかっけておくべきである」。さらに「潜在ニーズを考え抜くことが大事で、ステイプ・ジョブズの言葉を借りるなら『顧客が今後何を望むようになるのか。それを顧客本人よりも早くつかむのが重要である。』」とのことでした。



講演する十河先生

管理」に着目され、①歯周ポケット測定、②自動音声認識と欧米の歯周病新分類を支援するアプリ、③18分でRed Complex⁽²⁾

が分かるリアルタイムPCR⁽³⁾、③バカカ身体操と滑舌検査が一体化したスマホのゲームアプリの3つを開発中で、「これらの研究開発もようやく終盤を迎えている」とのことでした。今回、十河先生から本学においての「産学連携」の発展についての大きなエネルギーをいただきました。臨床・教育・研究の3つの柱をバランス良く、かつ産学連携に発展させていかな

ければならない大学の使命を痛感しました。十河先生のさらなる研究開発を大いに期待したいと思います。
(1) TAM・SAM・SOM…市場規模を表す指標
(2) Red Complex…歯周病の悪玉3菌の総称
(3) リアルタイムPCR…DNA増幅による細菌等の検査法
(歯学部 産学連携推進室 宇田川信之 先生)

「新課程」大学入学共通テスト無事終了

本学試験会場で274人が受験

2025年1月18日（土）・19日（日）の2日間、全国で大学入学共通テストが実施された。今年の試験会場は全国651箇所（1）に設けられ、松本歯科大学も長野県内の試験会場のひとつとして運営にあたった。

今年の出願者数は昨年より若干増加し49万5171人となり、7年ぶりの増加を記録した。一方で、長野県内の出願者数は117人の減少が見られた。今年の新課程移行期初年度であり、新課程と旧課程が並行して実施された。このため、受験生も会場運営側も例年以上に準備が求められる年となった。

新課程初年度となった今年の共通テストは、受験生や教育現場にとって大きな転換期となった。今後、この試験結果が大学入試全体にどのような影響を与えるのか、教育関係者の間で注目が集まっている。



受検をする受験生

本学では共通テストの成績を基準にした特待生制度を設けており、「特待生1種」「特待生2種」に選出された学生には学費減免などの特典が与えられる。今年もこの制度を活用して多くの

新課程初年度となった今年の共通テストは、受験生や教育現場にとって大きな転換期となった。今後、この試験結果が大学入試全体にどのような影響を与えるのか、教育関係者の間で注目が集まっている。

新課程初年度となった今年の共通テストは、受験生や教育現場にとって大きな転換期となった。今後、この試験結果が大学入試全体にどのような影響を与えるのか、教育関係者の間で注目が集まっている。

写真部ギャラリー

〜今月の一枚〜



『… 極楽！極楽！』 撮影：林 省吾（第3学年）
露天風呂に入ってリラックスしている姿はまるで人間のように。雪景色の中で、とっても気持ち良さそうな表情に思わず笑いが…

Alumni News

松本歯科大学校友会

新潟県支部

特任教授・鷹股哲也先生が講演

「大学創立以来52年の在職を振り返って」

歯科医学について



鷹股特任教授（中央）を囲んで新潟県支部会員

令和6年度 蒼穹の会（松本歯科大学校友会新潟県支部）学術講演会を11月9日（土）午後、県歯会館で開催した。会場の都合でZoomでのハイブリッド開催とさせて頂いた。

講師・松本歯科大学特任教授鷹股哲也先生、演題「大学創立以来52年の在職を振り返って」――歯科補綴学からスポーツ

講師の鷹股先生は愛知学院大学卒業後、松本大学創設当初1972年に補綴学助手をかわきりに、米国インディアナ大学留学、英国ロンドン大学客員教授、松本大ロンドンクリニック、2021年日本補綴歯科学会終身指導医、2023年日本スポーツ歯科医学会専門医・指導医2023年長野県スポーツデンティスト協議会会長を拝命している。現在の仕事スポーツ歯科医学についてなどをマウスガードに適した材料学的調査とスポーツアスリートとの関わりなどを講演。この先まだまだ説明していかなければならない多くの事柄に挑戦していきたいと考えておられる。非常に盛りだくさんの講演内容でこの度のバリ五輪強化チームにも関わり聴きたい内

容であった。延長して懇親会の時間も迫る中、一旦閉じていただき、懇親会でまた続きを語っていただきました。大学内の近況なども聞き、夜もふけるまで大いに盛り上がりました。補綴という明日の臨床に役立つ事柄が織り込まれ大いに勉強になり、更に研鑽を続けてきたいと思います。

（6期生 佐藤隆）

松本歯科大学では講義館の7教室を使用し、274人の受験生を受け入れた。試験当日も会場スタッフは早朝から最終確認を行い、緊張感の中で準備を進める姿が見られた。試験運営に携わった試験監督者の一人は、「新課程と旧課

Matsumoto Dental University SNS Information



LINE



X



Instagram



facebook

2月行事予定

1日（土）・2日（日）
第118回歯科医師国家試験（東京）

2日（日）・3日（月）
一般選抜⁽¹⁾
共通テスト利用選抜⁽¹⁾
留学生選抜^{(K)・(D)}

4日（火）
進級試験^(第5学年)

5日（水）
共用試験C B T^(第4学年)

6日（木）
歯学部・大学院
卒業証書授与式・学位記授与式
一般選抜⁽¹⁾
共通テスト利用選抜⁽¹⁾

人事異動

〔定年退職〕 1月1日付
北野由紀子 事務総長（事務総長・校友会・産学連携推進室長・松本大学理事）

〔昇任〕 1月2日付
水野 好博 事務総長（事務総長・校友会・産学連携推進室長・松本大学理事）

〔退職・自己都合〕 12月31日付
三溝 真紀（外務省国際協力専門官）

留学生選抜^{(K)・(D)}
合格者発表

7日（金）・21日（金）
定期試験（衛生学院第1学年）

14日（金）
進級試験^(第2・3学年)

26日（水）
総合型選抜⁽¹⁾
一般選抜⁽¹⁾
共通テスト利用選抜⁽¹⁾
編入学選抜⁽¹⁾
大学院発表会

28日（金）
総合型選抜⁽¹⁾
一般選抜⁽¹⁾
共通テスト利用選抜⁽¹⁾
編入学選抜⁽¹⁾
合格者発表

受験生の皆さんへ

☺
見せてほしい 君の個性 君の情熱

※ 総合型選抜（Ⅱ期）
一般選抜（Ⅱ期）
※ 共通テスト利用選抜（Ⅱ期）
※ 編入学選抜（Ⅱ期）

● 試験日
2月26日（水）

※ 総合型選抜・編入学選抜の試験場は本学です。
※ 共通テスト利用選抜は、個別試験はありません。

● 出願期間
2月3日（月）～2月19日（水）

● 試験場
本学・東京・大阪

■ お問い合わせ ■

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp